

第3回学術フォーラムの結果概要について

開催日時・場所
<p>平成26年(2014年)7月16日(水) 10~12時 コラボしが21 3階 中会議室1</p>
出席委員
<p>井手委員、清水委員、田中克委員、津野委員、西野委員、平山委員 (欠席：田中賢治委員、鳥越委員、堀越委員、脇田委員)</p>
主な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・マザーレイク21計画関連指標の平成25年度末の状況および平成26年度関連事業の概要を報告。 ・各指標の関連性や評価方法の検討状況について報告。
主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・底質や水位に関する指標を追加し、各種指標との相関関係を整理すべき。 ・生物多様性の状況をより把握できるよう、新たな指標の追加を検討すべき。 ・農業や林業に関する指標について、地域単位で示すことができないか検討すべき。 ・各指標の情報提供のあり方として、分かりやすさ・メッセージ性の視点も必要。 ・マザーレイク21計画では、「暮らしと湖の関わりの再生」に取り組むこととしていることから、県民の暮らしや活動が、琵琶湖の再生にどのように寄与しているかが見えるよう工夫すべき。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・関連する指標については、関係部局に確認しながら、今後もできる限り追加していく。 ・各指標の評価方法については、引き続き資料のまとめ方を検討する。

マザーレイク 21 計画学術フォーラム委員名簿

委員名	主な職	備考
井手 慎司	滋賀県立大学環境科学部教授	
清水 芳久	京都大学大学院工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター教授	
田中 賢治	京都大学防災研究所附属 水資源環境研究センター准教授	
田中 克	京都大学名誉教授	
津野 洋	大阪産業大学人間環境学部教授	
鳥越 皓之	早稲田大学人間科学学術院教授	
西野 麻知子	びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部教授	
平山 貴美子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科講師	
堀越 昌子	京都華頂大学現代家政学部教授	
脇田 健一	龍谷大学社会学部教授	

五十音順 (敬称略)

指標による評価

- 琵琶湖の「定期健康診断」
- のべ127種類の指標、目標値と最新の数値
- 経年変化を見るため、グラフ化できたものは52個
- 最新の数値と過去からの数値の推移を見る
- 個々の数値に一喜一憂せず、全体的な傾向を見る
(近視眼的に見ない)
- 変化の兆しを見る

→計画目標に近づいているのか評価する。

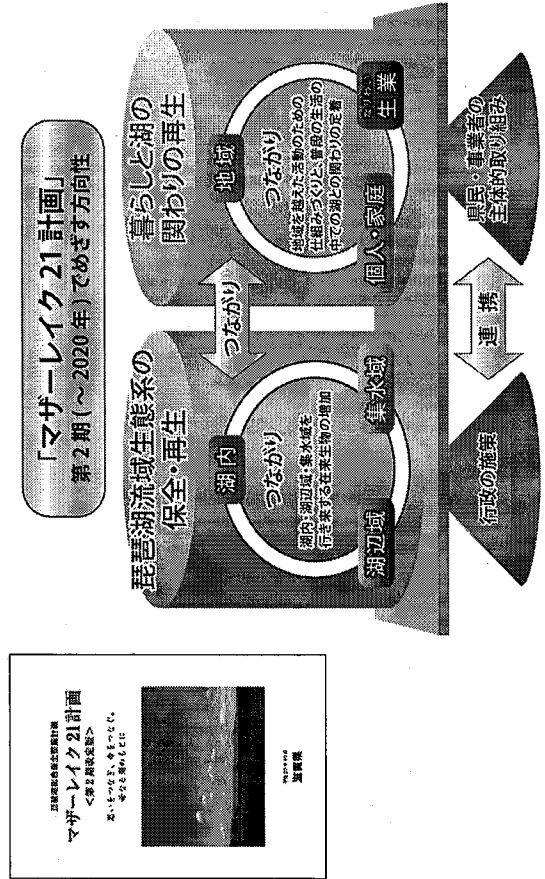
マザーレイク21計画 各種指標の状況

滋賀県環境審議会
琵琶湖総合保全部会

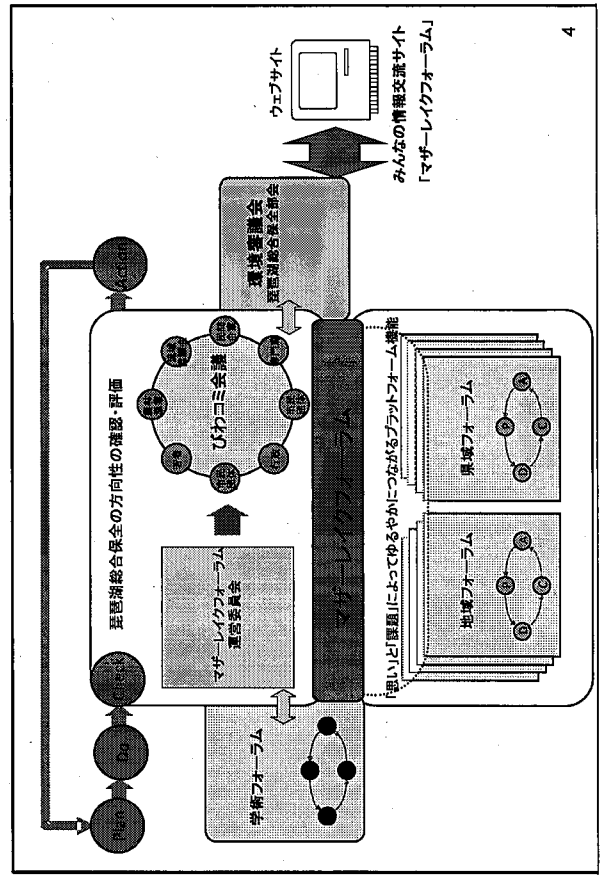
平成27年1月26日(月)

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課

マザーレイク21計画(第2期改定版)の体系



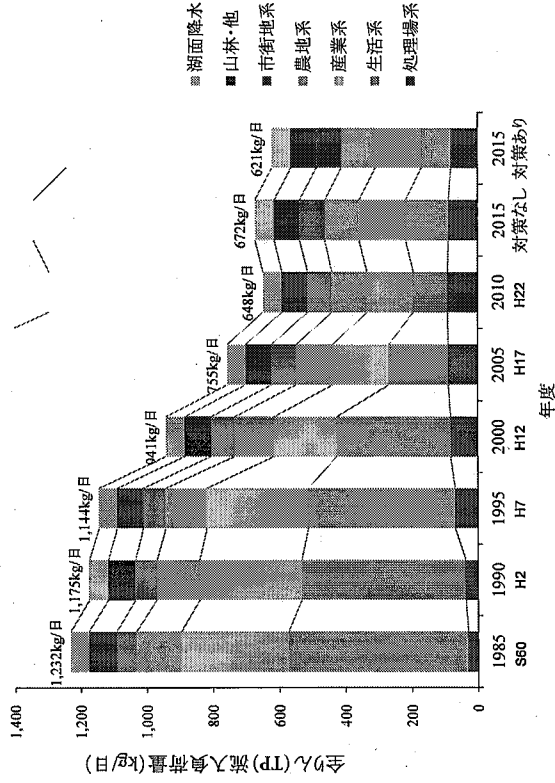
マザーレイク21計画の進行管理



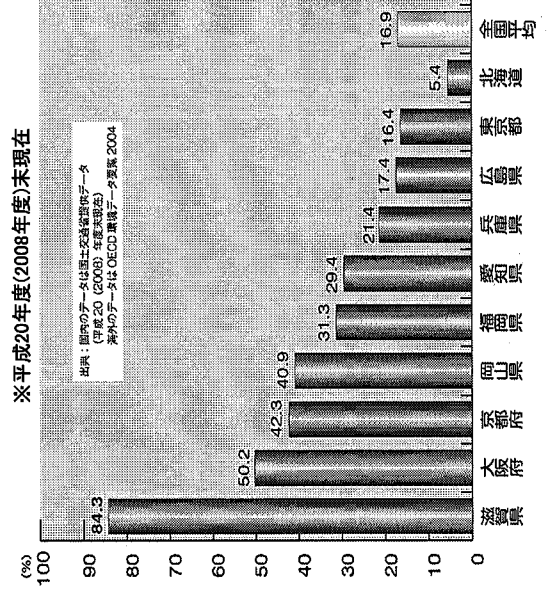
水質

- 1970年代、琵琶湖の最も大きな問題は、水質汚染だった。
- 環境基準項目は、COD(有機物による汚染)、窒素、りん(富栄養化の観点)。
- この30年あまり、県の対策の中心は、「琵琶湖に流入する汚れを減らすこと」だった。
- 対策(アウトプット)は進んだ。水質(アウトカム)の一部は対策の結果を表している。

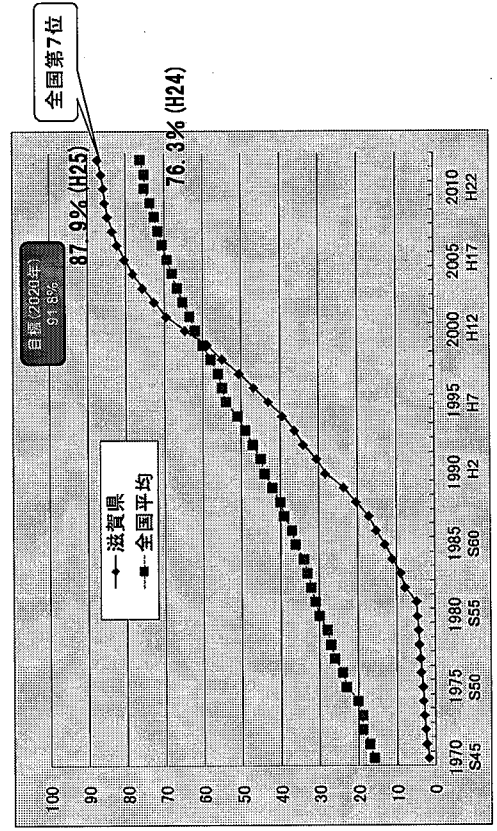
流入汚濁負荷推定量(T-P)



下水道高度処理普及率



下水道普及率

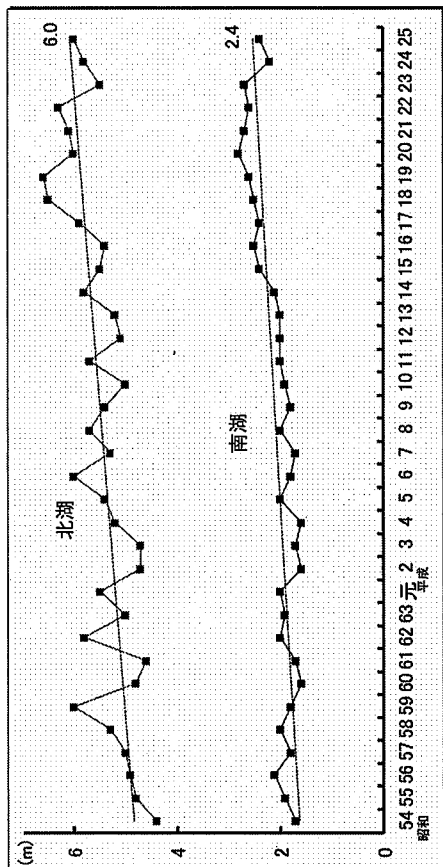


追加

最近5年間の水浴場水質判定状況(開設前)

水浴場名	市町名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
松の浦	大津市	A	AA	A	AA	A
近江舞子	大津市	AA	AA	AA	A	AA
なぎさ	守山市	B	B	B	B	B
宮ヶ浜	近江八幡市	A	B	A	AA	A
新海浜	彦根市	AA	B	B	B	B
松原	彦根市	B	B	B	B	B
南浜	長浜市	A	AA	AA	AA	AA
二本松	長浜市	AA	AA	AA	B	A
マキノビーチ	高島市	A	AA	AA	AA	A
判定別 水浴場数	AA	3	5	4	4	2
	A	4	0	2	1	4
	B	2	4	3	4	3

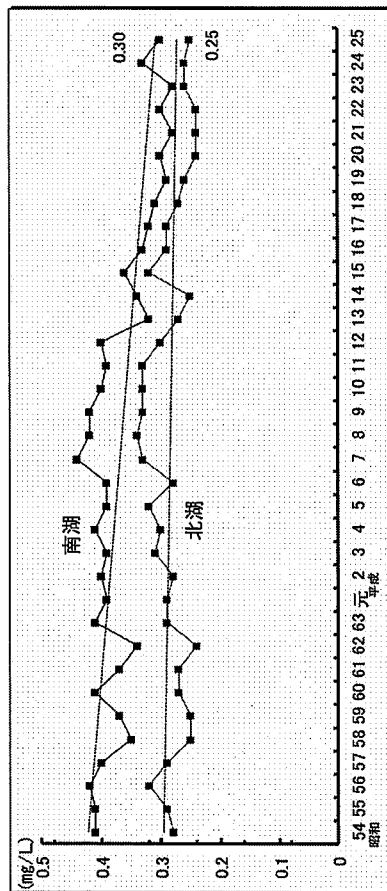
琵琶湖の水質(透明度)



※北湖28、南湖19地点の平均値

琵琶湖の水質(T-N)

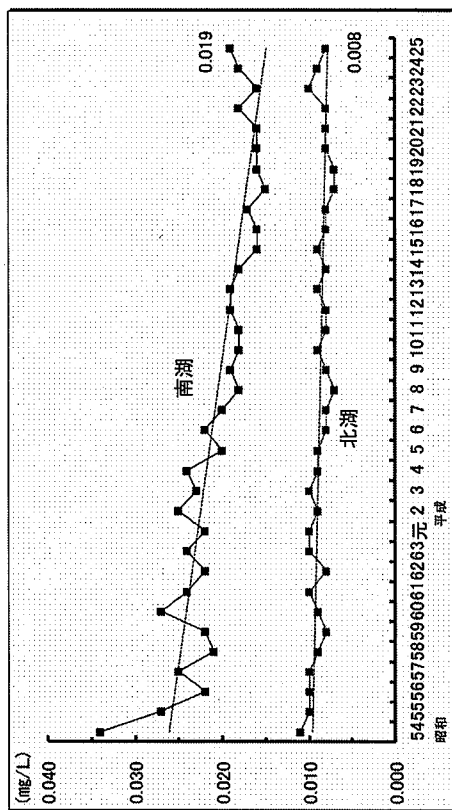
【測定全地点の平均値】



※北湖28、南湖19地点の平均値

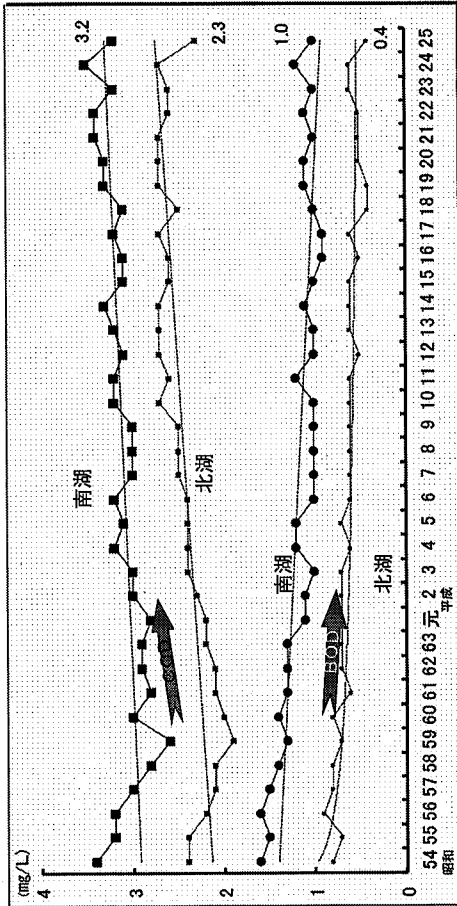
琵琶湖の水質(T-P)

【測定全地点の平均値】



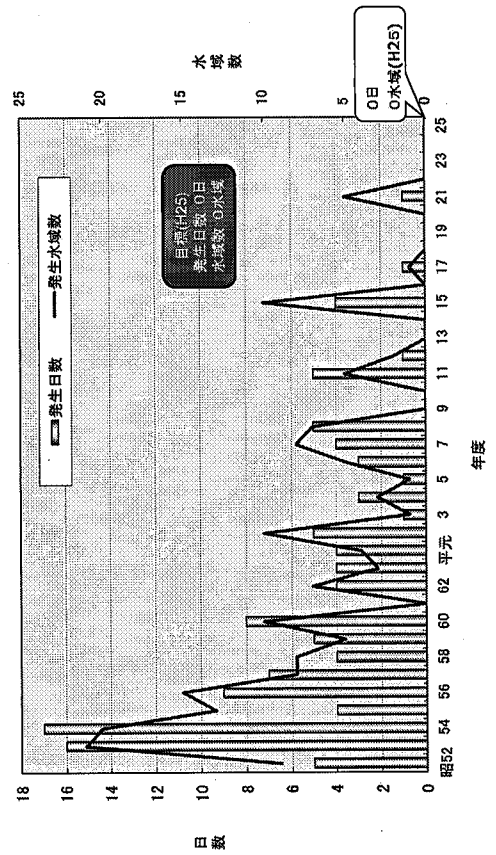
※北湖28、南湖19地点の平均値

琵琶湖の水質(COD、BOD)と汚濁負荷量の推移(COD) [測定全地点の平均値]



※北湖28、南湖19地点の平均値

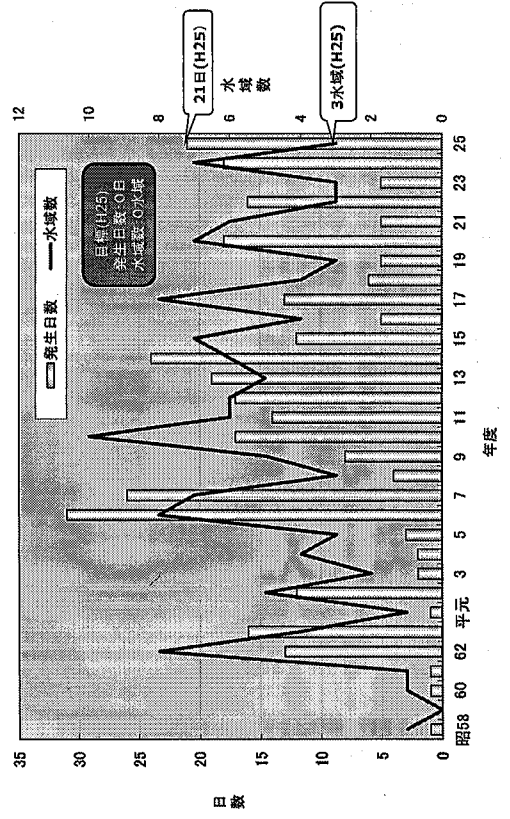
淡水赤潮の発生



植物プランクトンの状況

- 赤潮の発生は近年減少傾向にある。
- アオコは閉鎖性の高い水域で発生している。
- 窒素、りんなどの栄養塩類の状況から、富栄養化の進行は引き続き抑制されていると考えられる。

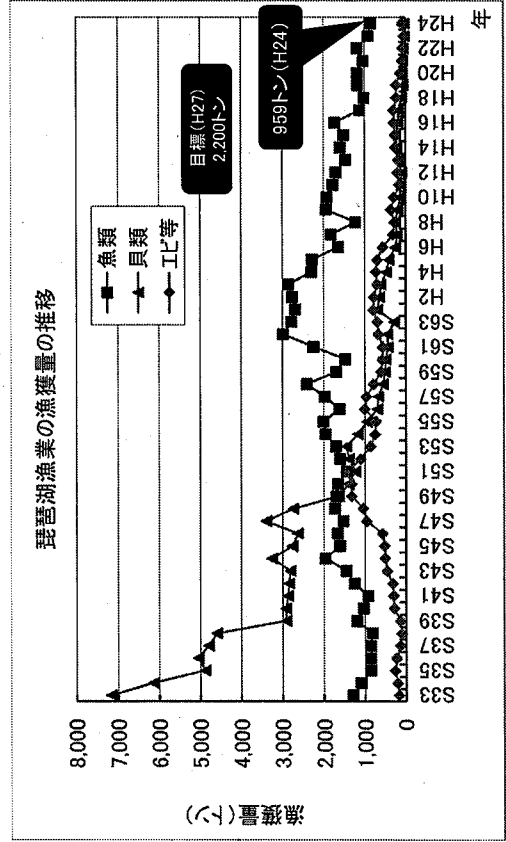
アオコの発生



琵琶湖の漁業および魚介類・生き物の変化

- 琵琶湖の漁業においては、漁業者が減少しており、また高齢化が進行している。
- フナ、セタジミ、ホンモロコなど琵琶湖の魚介類の漁獲量は、近年大きく減少している。
- 大増殖したオオクチバスやブルーギルなどの外来魚は、駆除やリリース禁止などの取り組みで推定生息量が減少傾向にある。
- カワウも駆除の取り組みの結果、この数年は減少傾向が見られる。

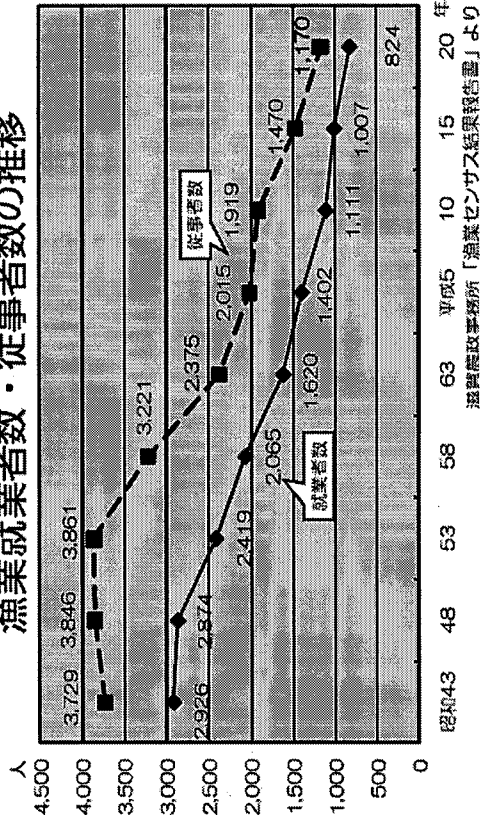
琵琶湖漁業の漁獲量 (外来魚を除く)



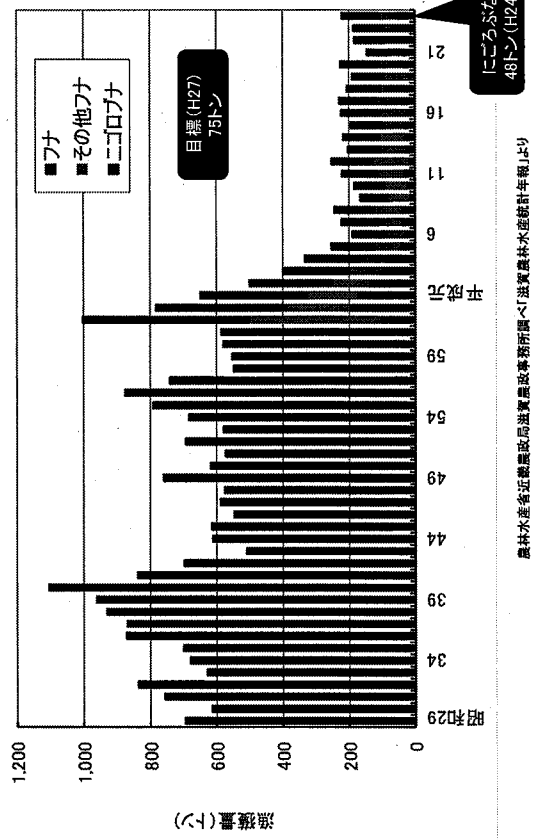
漁業就業者

追加

漁業就業者数・従事者数の推移

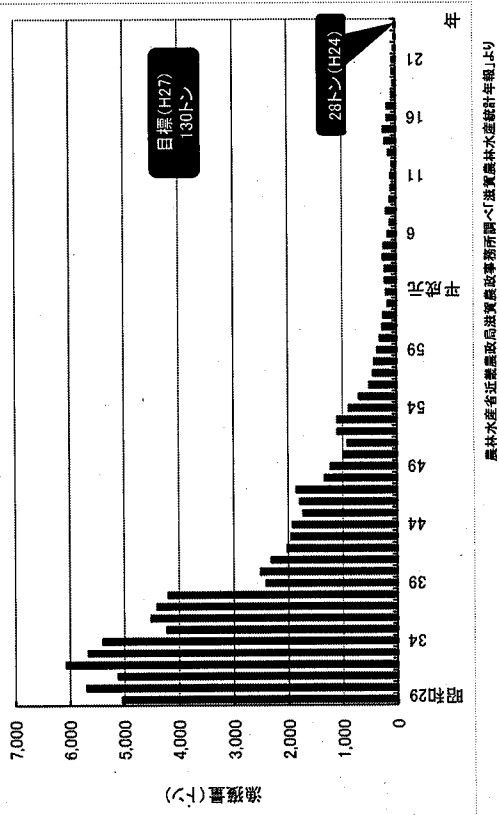


フナの漁獲量



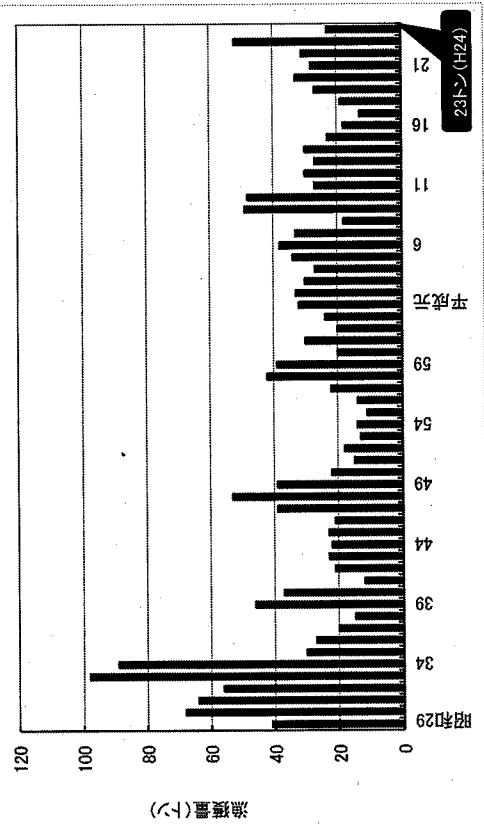
農林水産省近畿農政尚書事務所調べ「滋賀農林水産統計年報」より

セタジミの漁獲量



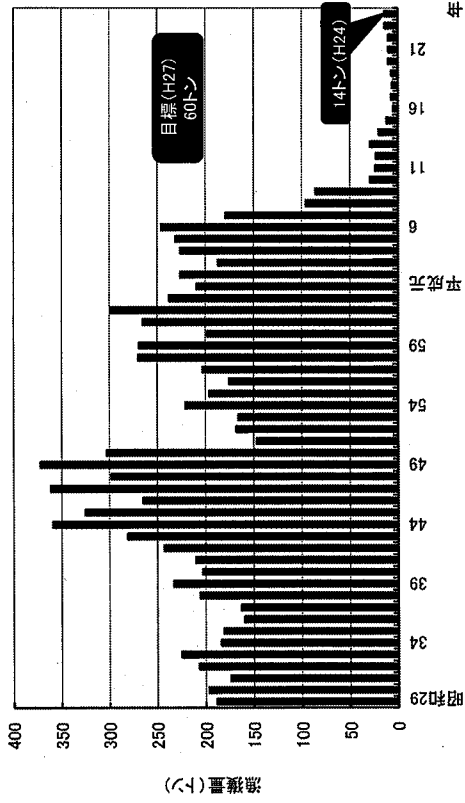
追加

ビワマスの漁獲量

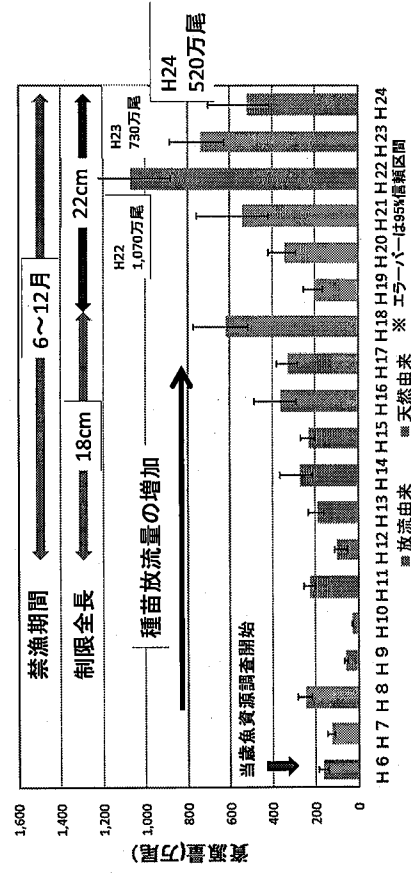


農林水産省近畿農政局滋賀農政事務所調べ「滋賀県林水産統計年報」より

ホンモロコの漁獲量



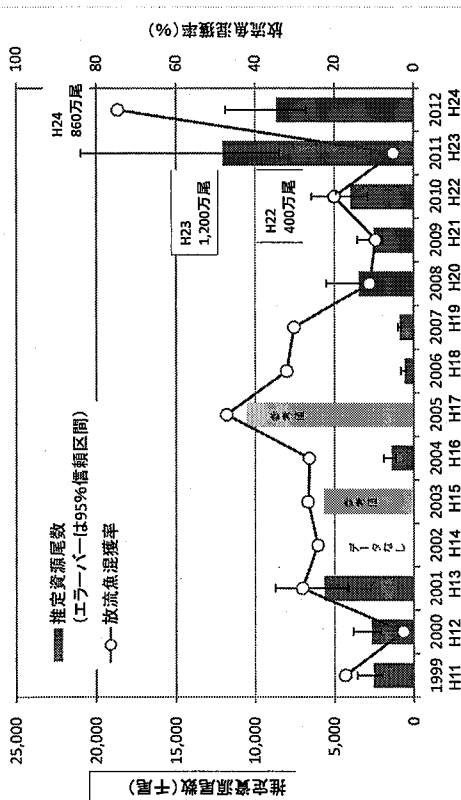
ニゴロブナ当歳魚資源尾数



出典：H25漁業者検討委員会 24

ホンモロコ資源尾数推定

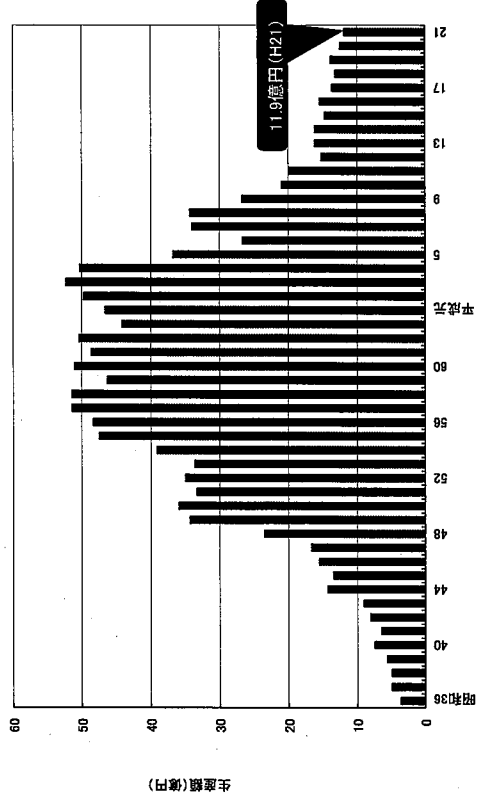
追加



出典:平成24年度滋賀県水産試験場事業報告より作成

琵琶湖漁業の生産額

追加

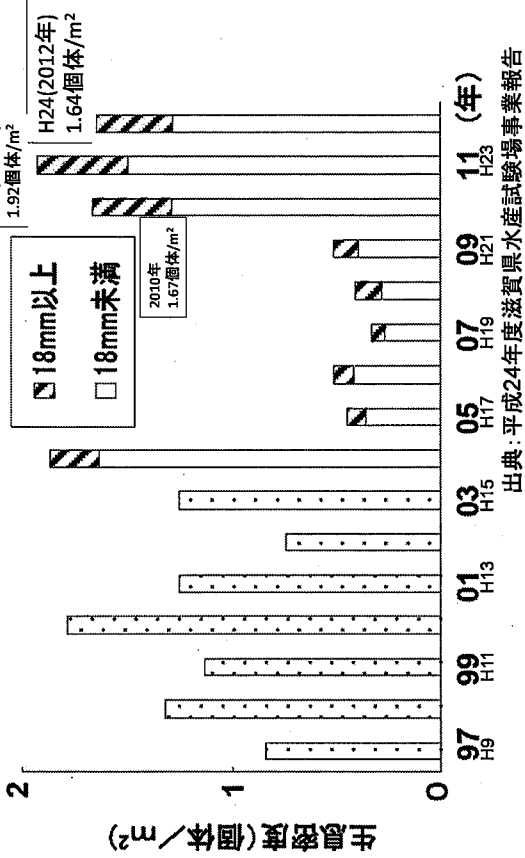


※平成22年度以降の統計はない

滋賀県水産試験場水産試験場報告より

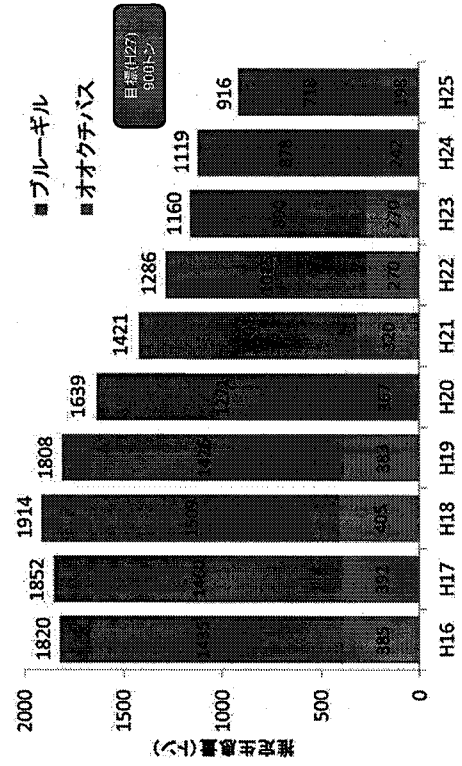
セタジミの主要漁場における 生息密度の推移

追加



出典:平成24年度滋賀県水産試験場事業報告

主な外来魚の推定生息量

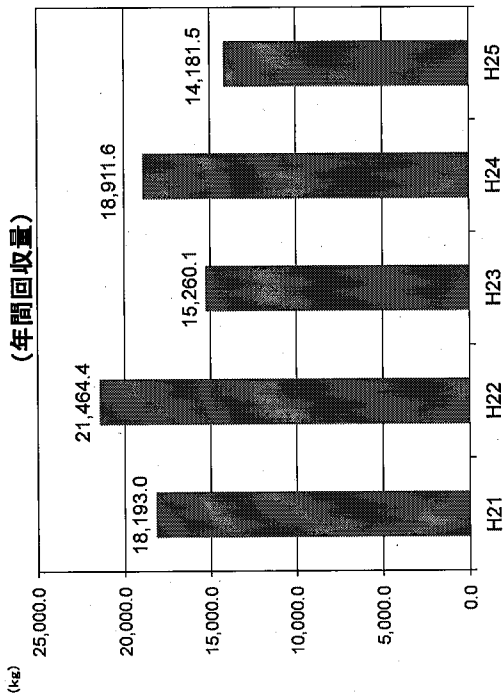


※推定は4月1日時点

※過数処理の関係上、合計と内訳の合算が異なる場合があります。

外来魚回収量実績

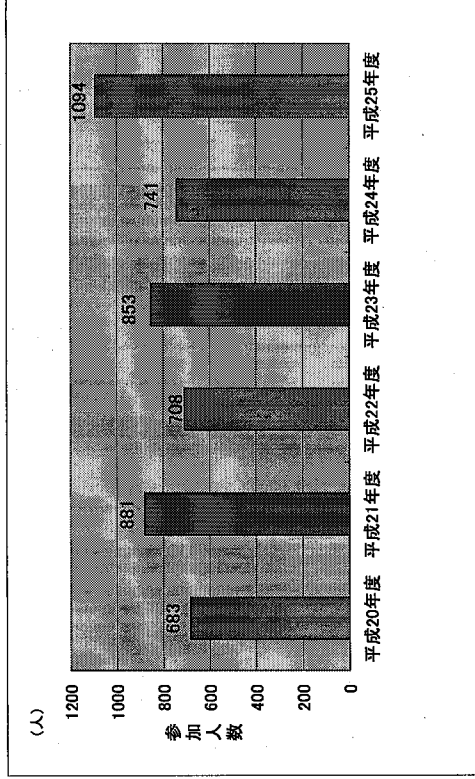
追加



29

びわこルールキッズ参加者の推移

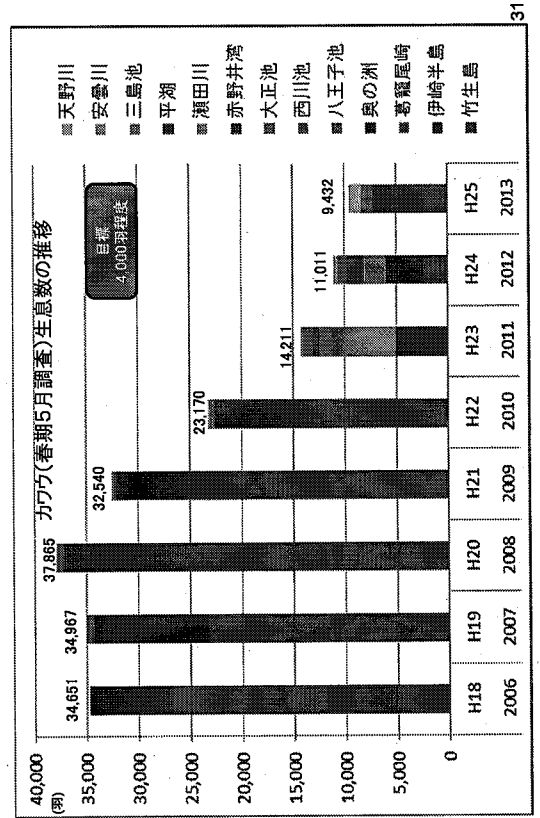
追加



30

琵琶湖のカワウ

追加

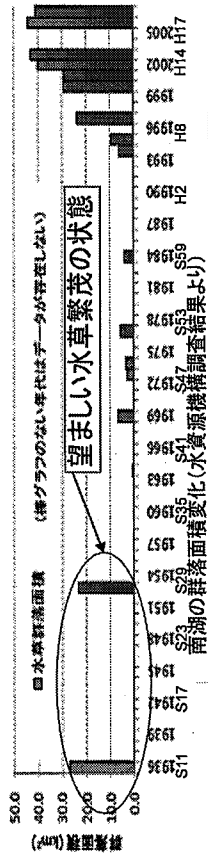
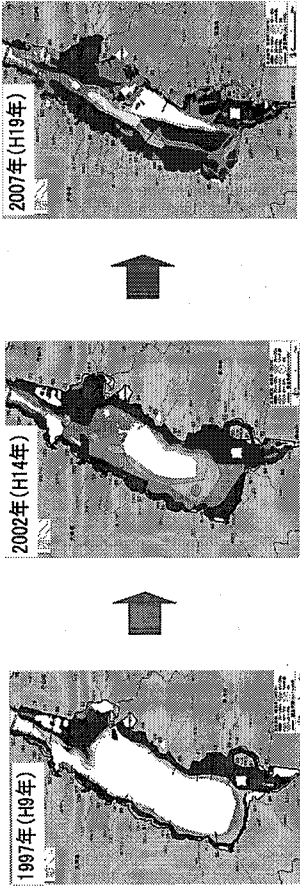


31

琵琶湖の水草の状況

- 1990年代頃から特に南湖で水草が大量に繁茂し、湖の流れが停滞し、湖底の泥化が進むとともに、水質や底質の悪化を引き起こしている。
- 表層刈り取り及び根こそぎ刈り取り、さらに人力刈り取りやワカバの放流など、様々な対策を行い、望ましい水草の状態に近づけようとしている。
- 刈り取った水草は、集めて堆肥化し、肥料として再利用している。
- これら対策等により、平成24年度には、現存量が約1/3にまで減少した。

南湖における水草の繁茂状況

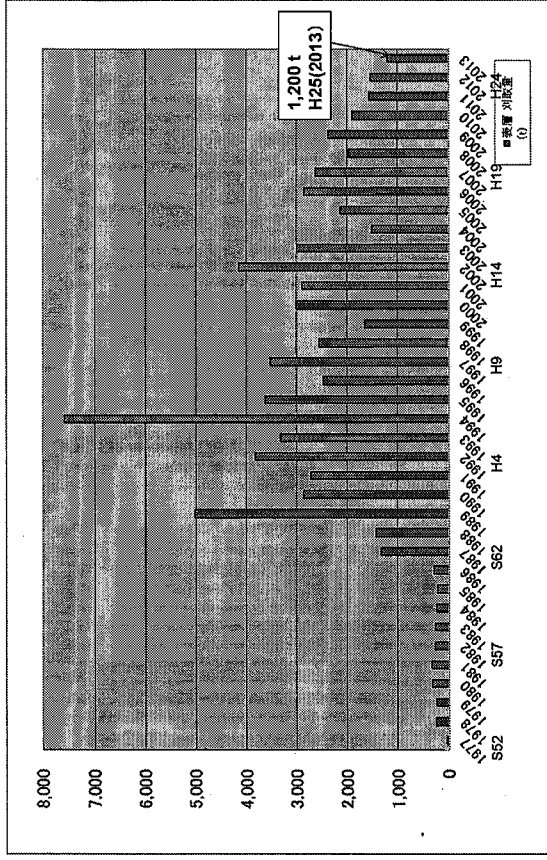


琵琶湖の湖岸の変化、内湖の取組 魚のゆりかご水田の取組

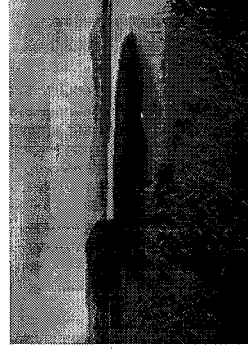
- 琵琶湖総合開発による湖岸堤の造築などにより、ヨシ群落等が埋め立てられ、自然湖岸が減少した。
- 生物多様性等において重要な内湖が減少。37あった自然内湖は23にまで減少した。
- コイ科魚類等の産卵の場である水田に遡上できると、「魚のゆりかご水田」への取り組みが増えた。

水草表層刈取量

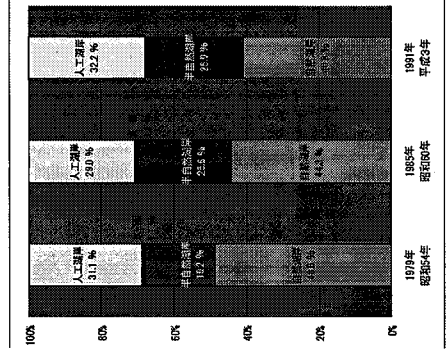
追加



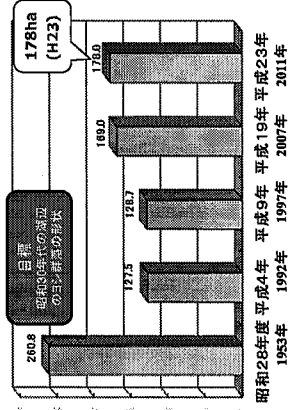
湖岸の変化



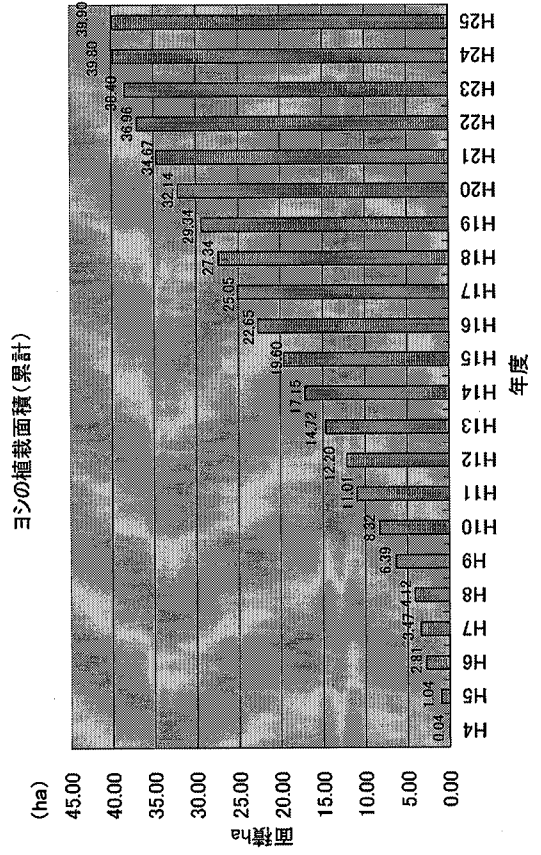
自然湖岸の減少



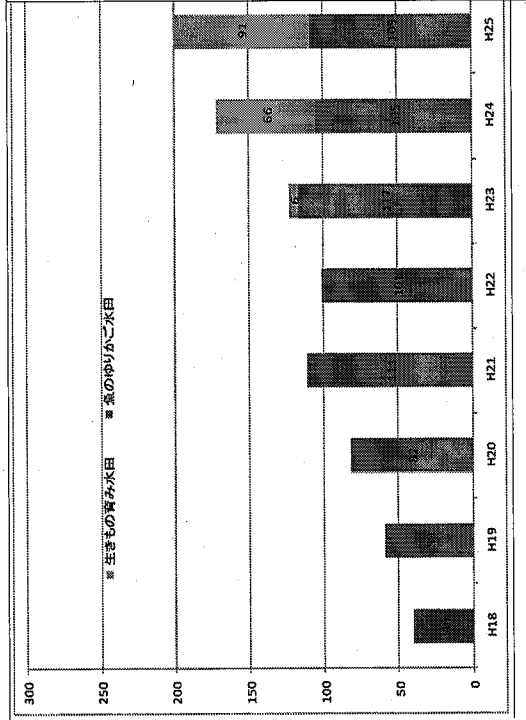
ヨシ群落等の推移



ヨシの植栽面積(累計)

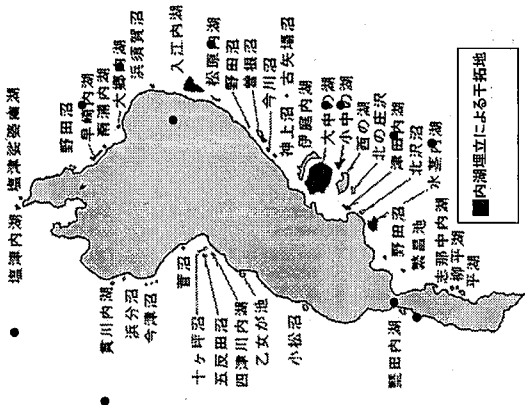
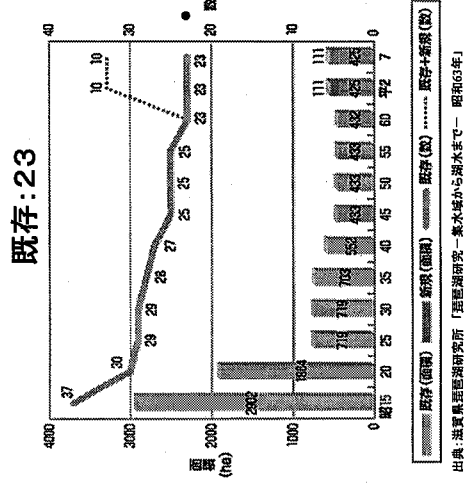


「魚のゆりかご水田」など豊かな生きものを育む水田取組面積



内湖の減少

内湖の現状

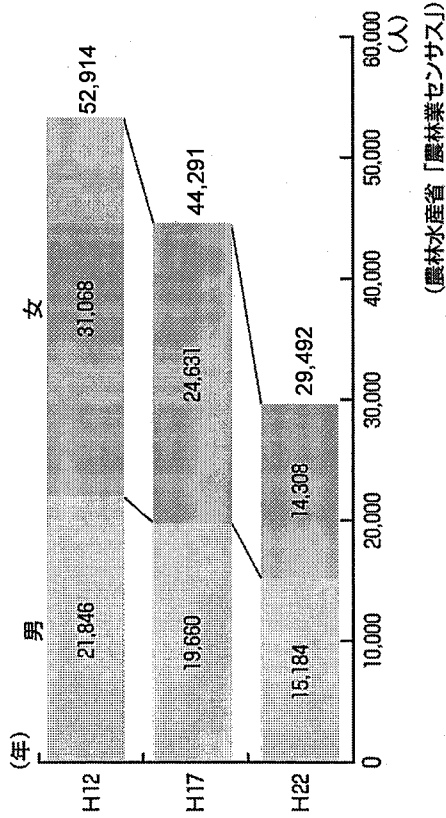


農業から見た状況

- 農業就業人口および耕地面積は年々減少してきている。
- それに反比例し、耕作放棄地は増加している。
- 農業産出額も年々減少の一途である。
- 一方で、環境に配慮した農業に取り組み農家は増えており、環境こだわり農業による農産物栽培面積は増え、化学合成農薬使用量は減少している。
- 「おいしいが、うれしがキャンペーン」に取り組む店舗数は増加している。

追加

農業就業人口(販売農家)

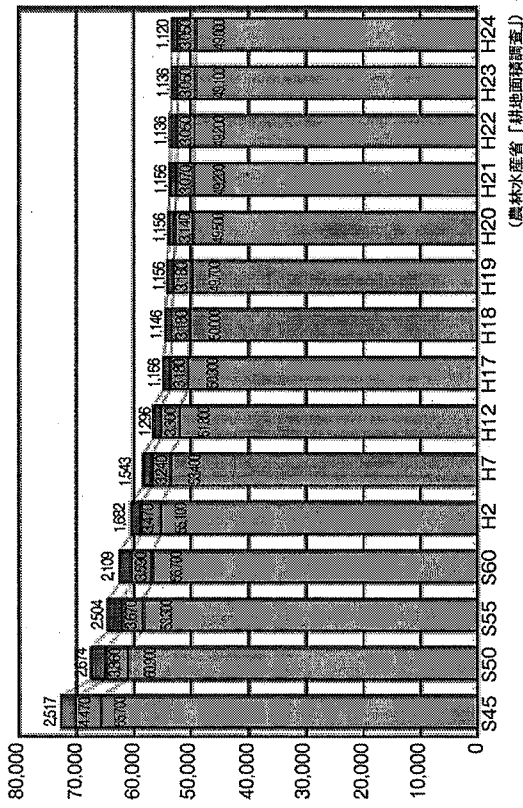


41

追加

耕地面積

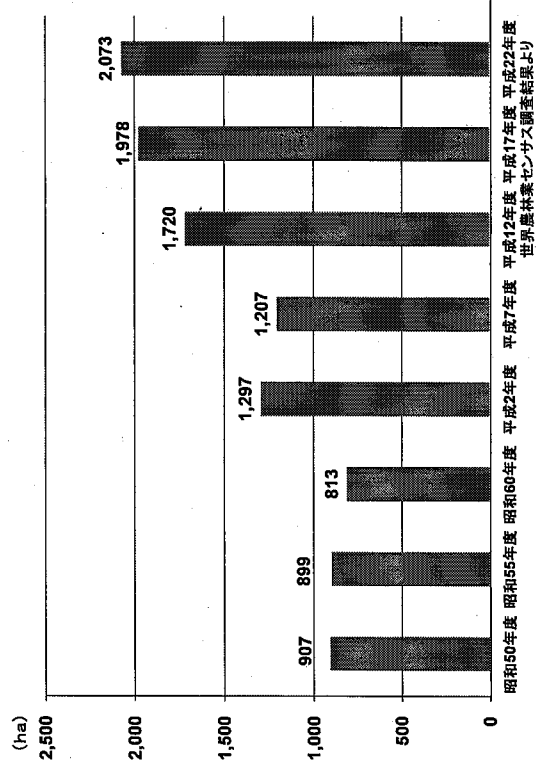
■ 農田 ■ 普通畑■ その他(樹園地・牧草地)



42

追加

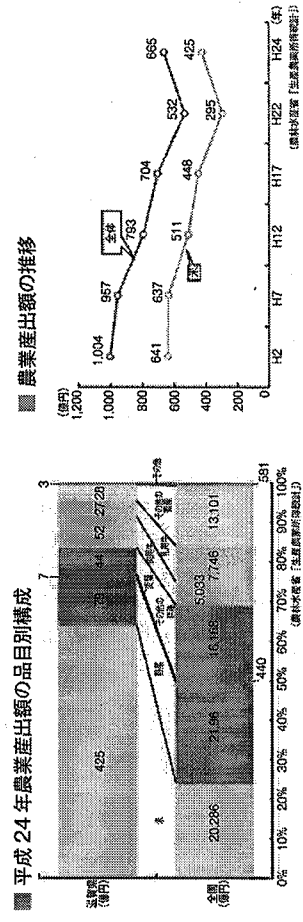
耕作放棄地面積



43

追加

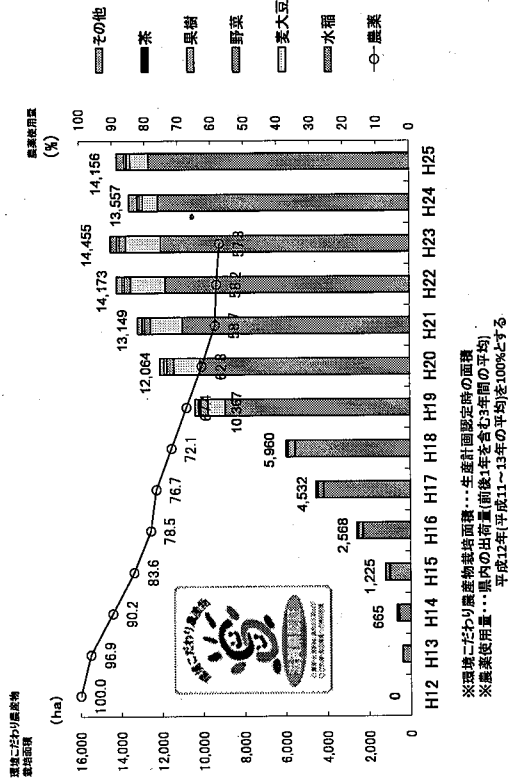
農業産出額



44

環境にこだわり農産物栽培面積と 化学合成農薬使用量の推移

追加



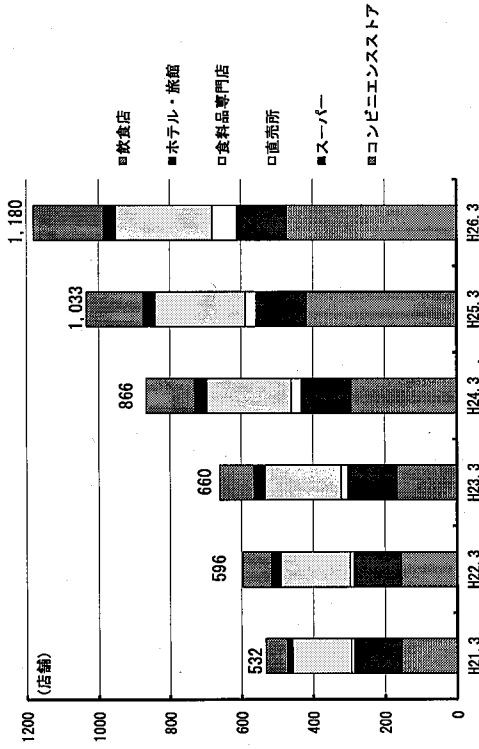
45

生物多様性の状況

- カイツブリの生息数に大きな変化はあまりない。
- 守山市赤野井湾のエリアで調査されたホテル飛翔地域数において、ホテルの飛ぶ地域数は増加傾向にあり、同地域におけるホテルの生息できる環境は保全されている。

「おいしがうれしがキャンペーン」 推進店の推移

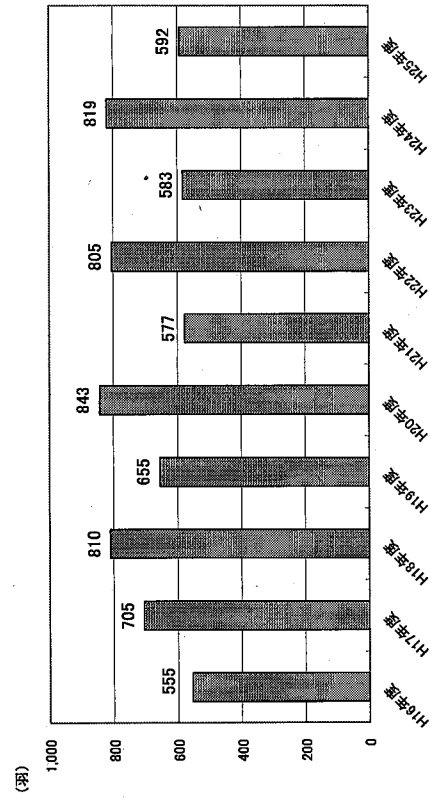
追加



46

カイツブリ生息数の推移

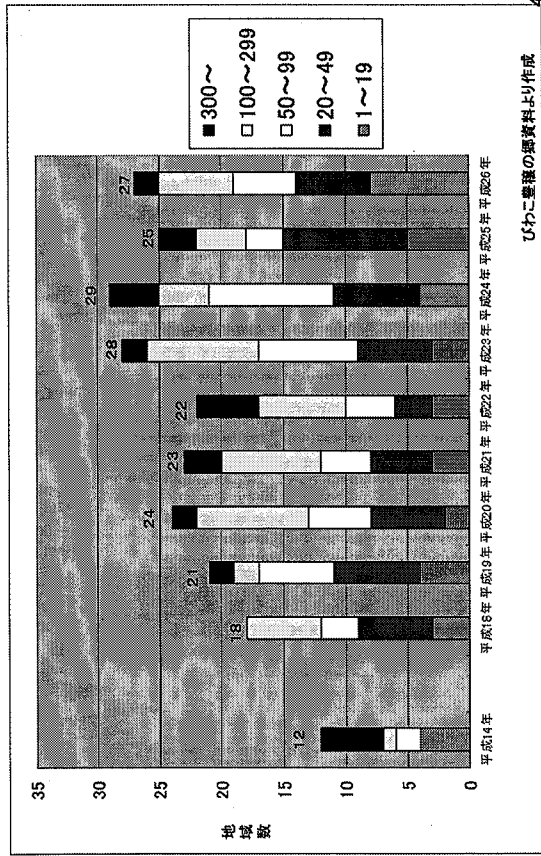
追加



48

ホタル飛翔地域数(守山市赤野井湾)

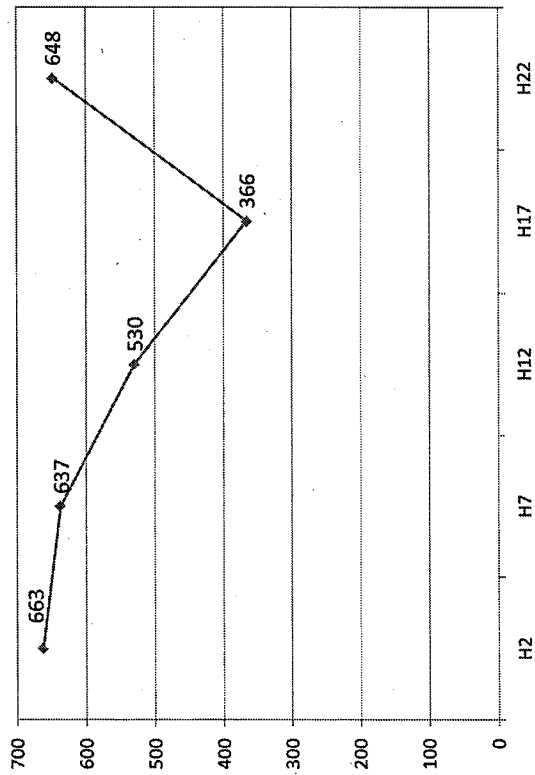
追加



49

林業就業者数

追加



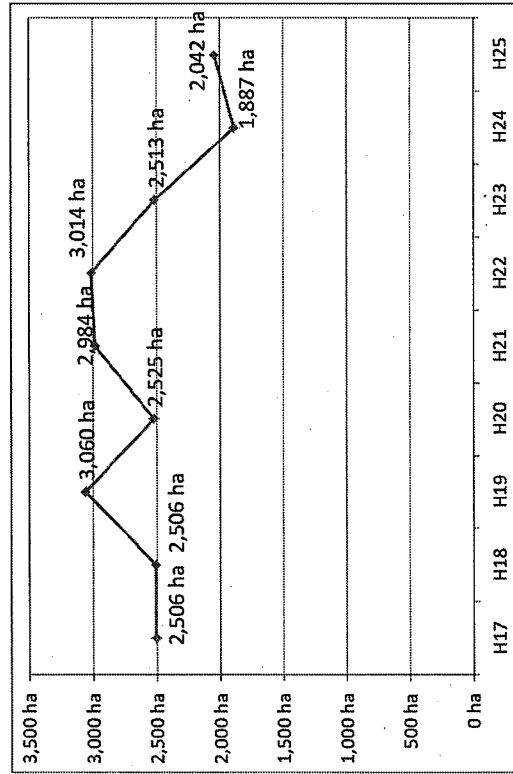
51

森林・林業の状況

- 林業就業者数は減少してきたが、近年は一転して増加している。
- 琵琶湖の水源地として重要な森林の保全において、間伐を行うとともに、利用間伐を進めている。県産材の素材生産量が増加し、林業産出額もやや上昇している。
- 森林を市民団体や集落ぐるみ、また企業とパートナー協定を締結したり、里山整備協定を締結するなど、個人ではなく団体として保全していく形態が増加している。
- 次世代への教育の一環として、森林環境学習を行っており、年間受講者数を増加させている。

年間間伐実施面積

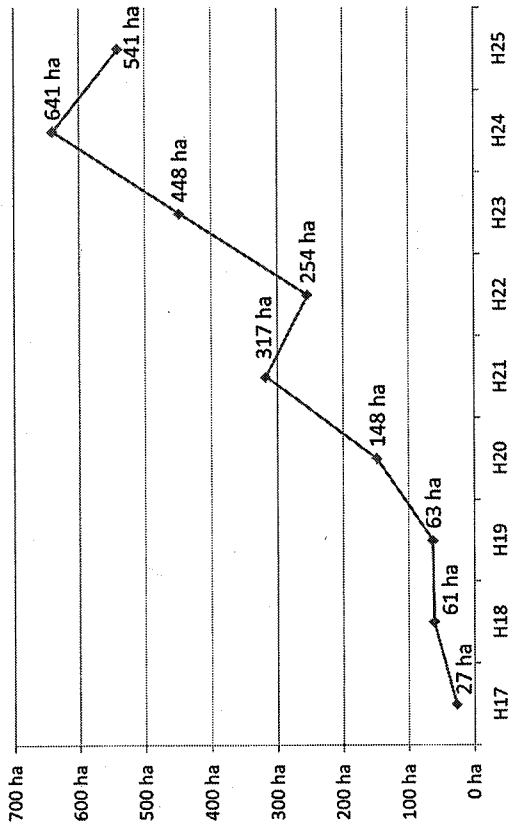
追加



52

利用間伐面積

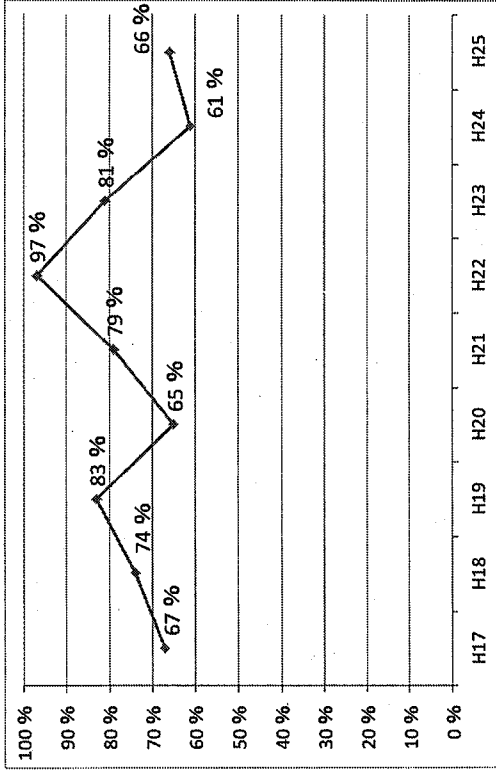
追加



53

除間伐を必要とする人工林に対する整備割合

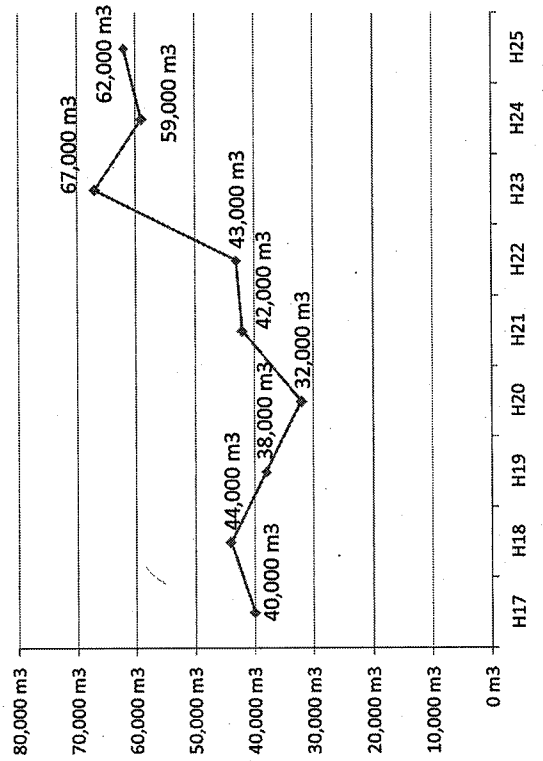
追加



54

県産材の素材生産量

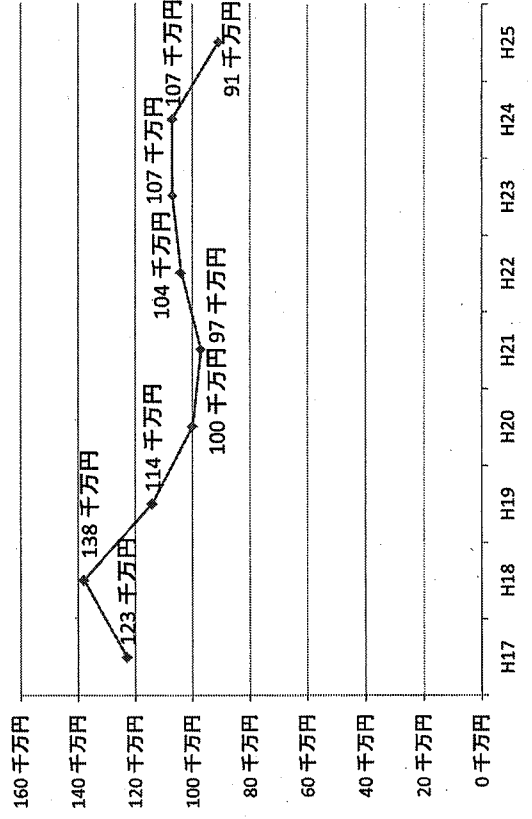
追加



55

林業産出額

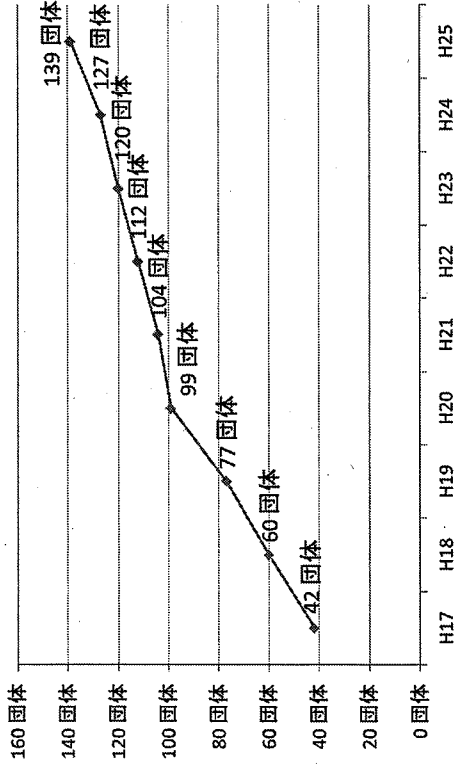
追加



56

森林づくり活動を実践している 市民団体等の数(累計)

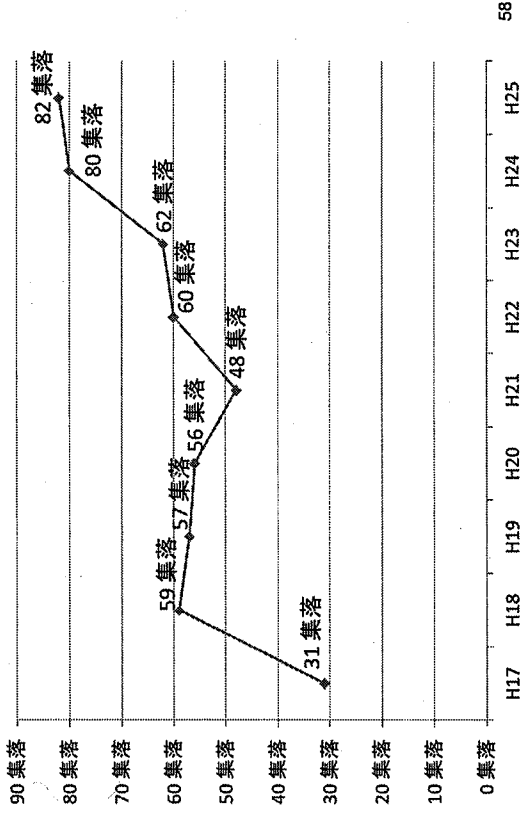
追加



57

地域の森林づくりを推進する集落数(累計)

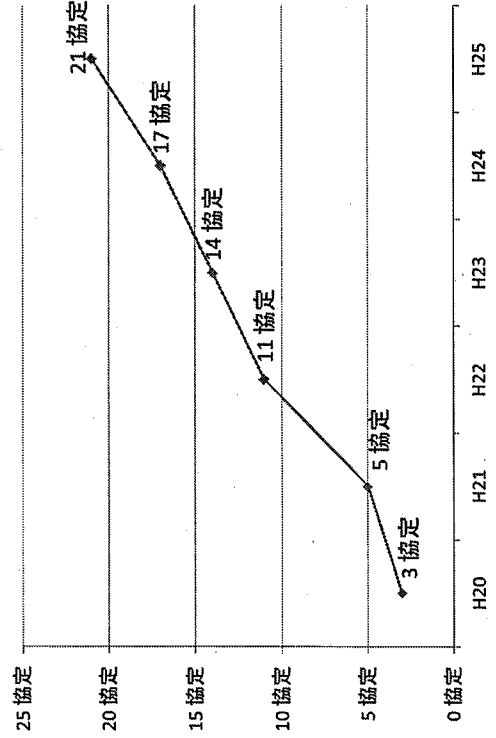
追加



58

琵琶湖森林づくりパートナー協定 (企業の森)締結数(累計)

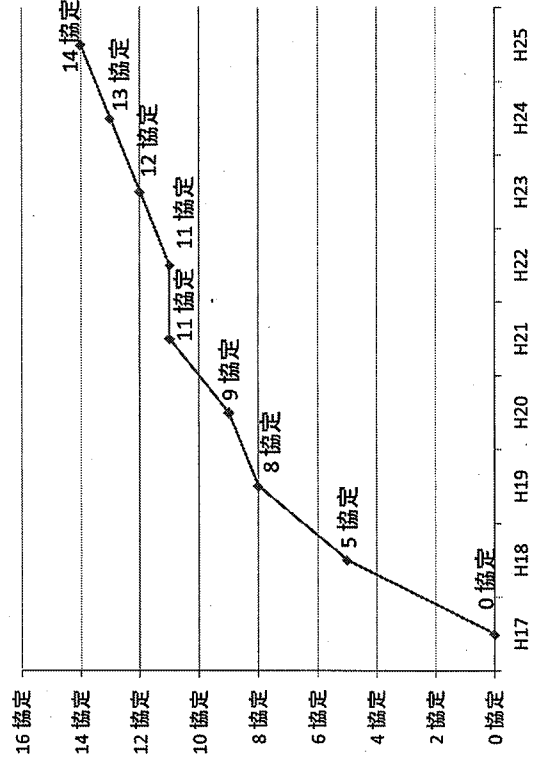
追加



59

里山整備協定林の数(累計)

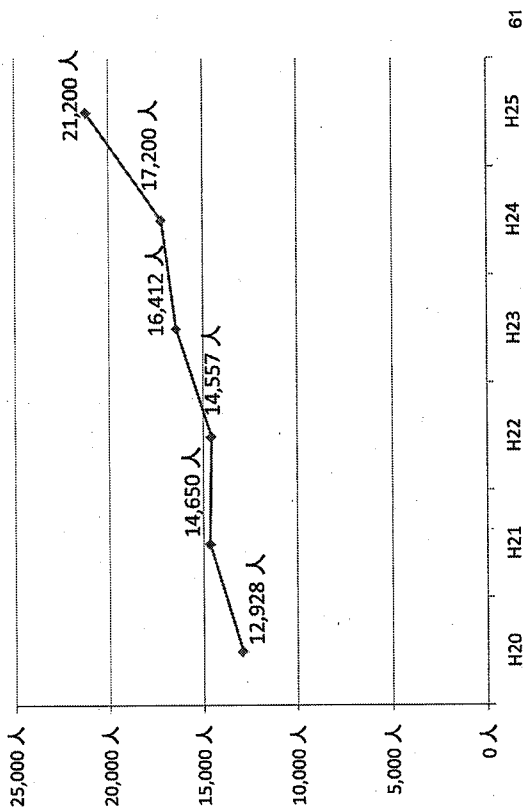
追加



60

森林環境学習の年間受講者数

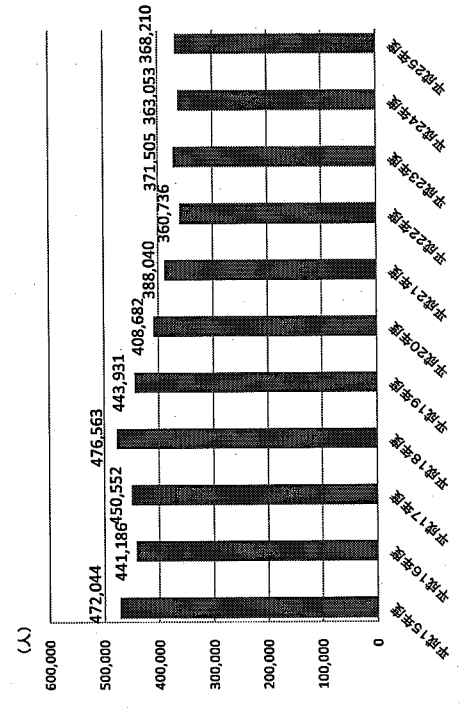
追加



61

琵琶湖博物館年間来館者の推移

追加



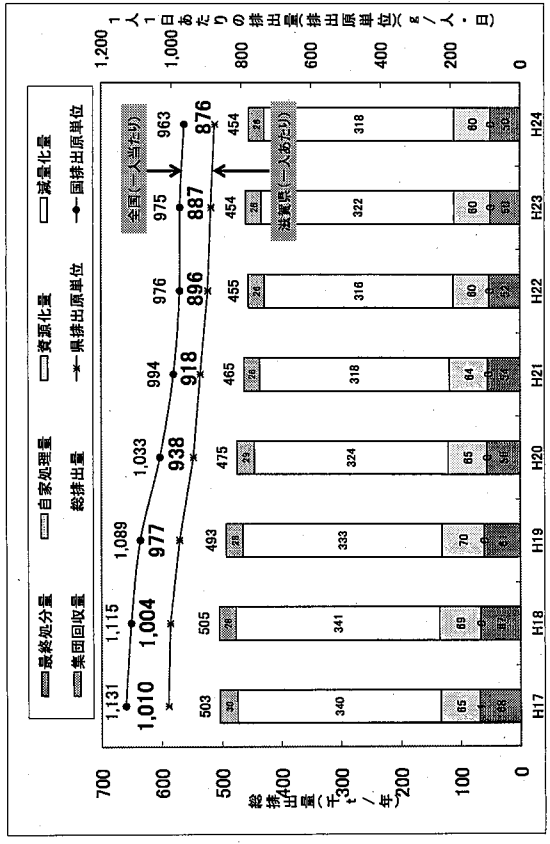
63

その他参考情報

- 琵琶湖博物館の年間来館者は減少傾向にあるが、平成8年に開館して18年が経過していることもあり、平成28年度にリニューアールオープンする予定。
- 県民一人が一日に出すゴミの量は、年々減少している。全国の数値と比べ、滋賀県民が出すゴミの量は少なく、環境意識が高い点が伺われる。
- 琵琶湖の水位の変化を追加。

追加

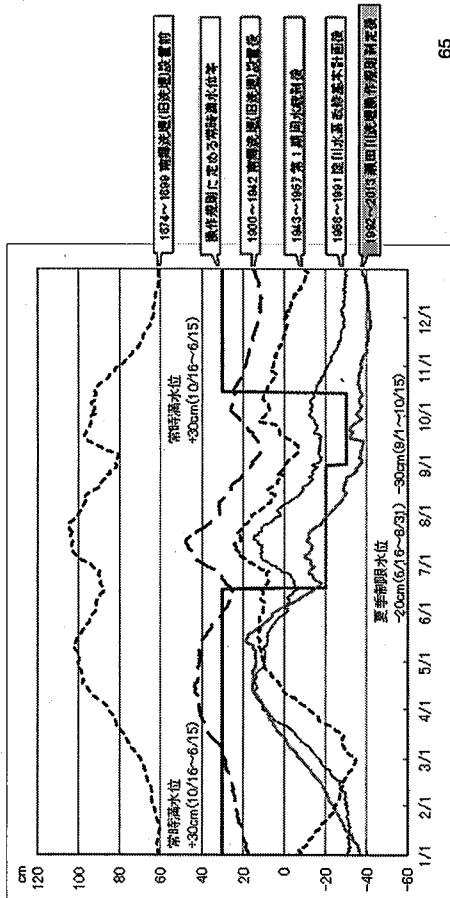
県民1人が1日に出すゴミの量



64

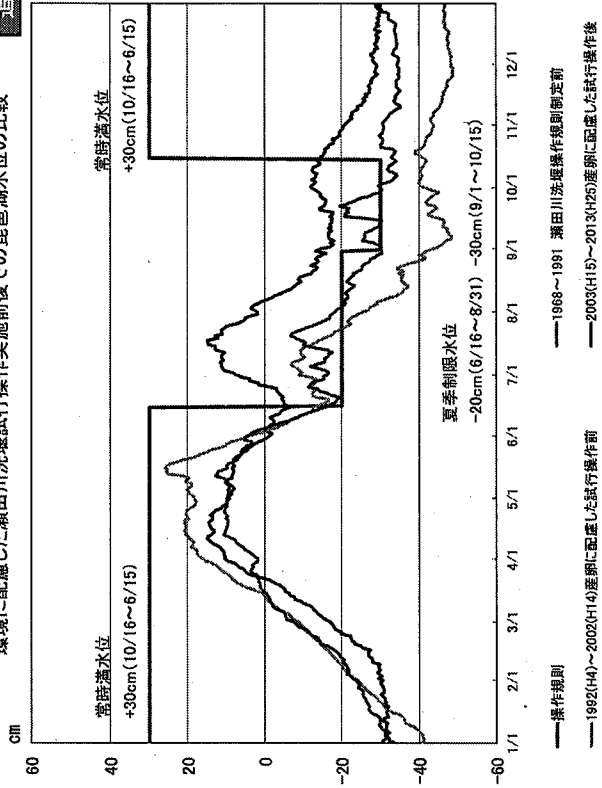
琵琶湖平均水位の変遷

追加



環境に配慮した瀬田川洗堰試行操作実施前後での琵琶湖水位の比較

追加



マザーレイク21計画各種指標の平成25年度末の状況

(目標値と平成25年度末のアウトカム指標、アウトプット指標の関係)

1. 琵琶湖流域生態系の保全・再生

(1) 湖内

【2020年度の目標】良好な水質と栄養塩バランスの回復と、多様で豊かな在来生物群集の再生

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 場合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
県内主要河川の水質目標の達成率	%	96 (H22)	83	92	88		100 (H25)	第三次滋賀県環境 総合計画	
琵琶湖の透明度(※1) (北湖中央部9地点平均値)	m	7.2 (H22)	6.2	6.6	6.9		7.2 (H25)	第三次滋賀県環境 総合計画	○
琵琶湖の水質(環境基準項目のほか 難分解性有機物に関する項目、 底層のDOなどを含む)							環境基準項目に ついてはその達 成に近づく それ以外の項目 については高度 経済成長期前の 値に近づく	第6期琵琶湖に係 る湖沼水質保全計 画	○
	* (COD) 北湖75%値	mg/L	2.9 (H22)	2.8	2.8	☆	2.9 (H27)	* 環境基準未達成 項目	
	* (COD) 南湖75%値	mg/L	5.0 (H22)	4.5	5.3	☆	5.0 (H27)		
	* (T-N) 北湖平均値	mg/L	0.25 (H22)	0.28	0.28		0.24 (H27)		
	* (T-N) 南湖平均値	mg/L	0.28 (H22)	0.28	0.30		0.26 (H27)		
	(T-P) 北湖平均値	mg/L	0.008 (H22)	0.008	0.008	☆	—		
* (T-P) 南湖平均値	mg/L	0.016 (H22)	0.013	0.014	☆	0.016 (H27)			
アオコの発生日数、水域数	日	16 (H22)	5	18	21		0 (H25)	第三次滋賀県環境 総合計画	○
	水域	3 (H22)	3	7	3		0 (H25)		
淡水赤潮の発生日数、水域数	日	0 (H22)	0	0	0	☆	0 (H25)	第三次滋賀県環境 総合計画	○
	水域	0 (H22)	0	0	0	☆	0 (H25)		
琵琶湖漁業の漁獲量 (外来魚を除く)	t	1,368 (H20)	1,301 (H22)	976 (H23)	959 (H24)		2,200 (H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○
ニゴロブナの漁獲量	t	39 (H20)	23 (H22)	45 (H23)	48 (H24)		75 (H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○
セタシジミの漁獲量	t	66 (H20)	41 (H22)	22 (H23)	28 (H24)		130 (H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○
ホンモロコの漁獲量	t	10 (H20)	10 (H22)	14 (H23)	14 (H24)		60 (H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○
追加 アユの漁獲量	トン	555 (H21)	683 (H22)	553 (H23)	525 (H24)		—	滋賀の水産	
追加 ビワマスの漁獲量	トン	28 (H21)	31 (H22)	52 (H23)	23 (H24)		—	滋賀農林水産統計 年報(農林水産省)	○
追加 ニゴロブナ当歳魚資源尾数	尾	—	730万	520万	—		—		○
追加 ホンモロコ資源尾数推定	尾	—	1,200万	860万	—		—		○
追加 セタシジミの主要漁場における生 息密度の推移	個体 /m ²	—	1.92	1.64	—		—		○
外来魚生息量 (4/1調査)	t	1,421 (H21)	1,160	1,119	916		900 (H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○
希少野生脊椎動物種	種	202 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)		—	種数を実績値以 上にしない 滋賀県で大切にす べき野生生物	
	絶滅危惧種	種	34 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)			
	絶滅危機増大種	種	27 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)			
	希少種	種	141 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)			
流入汚濁負荷推定量	t/日	34.0 (COD) 14.0 (T-N) 0.65 (T-P) (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)		33.6 (COD) 13.6 (T-N) 0.62 (T-P) (H27)	第6期琵琶湖に係 る湖沼水質保全計 画(策定時算出 値)	○

(※1) 「琵琶湖の透明度」の目標値は、昭和40年代前半の水質レベルとして設定されている。

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当年初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
下水道を利用できる県民の割合	%	85.8(H22)	86.4	87.3	87.9		91.8(H32)	滋賀県汚水処理施設整備構想2010	○
汚水処理施設整備率	%	97.8(H22)	98.2	98.4	98.2		100(H32)	滋賀県汚水処理施設整備構想2010	
水稲における環境こだわり農産物栽培面積の割合	%	33(H21)	37	38	39		50(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
流域単位での農業排水対策の取組面積	ha	14,978(H21)	15,531	15,981	16,145		16,800(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
ニゴロブナの種苗放流尾数	尾	1,154万 (全長20mm)	1,366万	1,322万	1,204万	☆	1,200万 (全長20mm)	水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	
		133万 (全長120mm) (H21)	127万	134万	140万	☆	120万 (全長120mm) (H26)		
ホンモロコの種苗放流尾数	尾	1.1億 (全長5mm)	1.28億	0	0		1億 (全長5mm)	水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	
		100万 (全長20mm) (H21)	128万	1,059万	1,029万	☆	800万 (全長20mm) (H26)		
セタシジミの種苗放流個数	個	11億 (殻長0.2mm) (H21)	11.4億 (殻長0.2mm)	8.0億 (殻長0.2mm)	946万 (殻長0.3~0.4mm)		20億 (殻長0.2mm) (H26)	水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	

(イトミミズの食害を防ぐため大型種苗の放流に転換：H25の946万は殻長0.2mm7.9億に相当)

(2) 湖辺域

【2020年度の目標】絶滅に瀕する在来種の種数と外来種の減少、在来魚類の再生産の回復と漁獲量の増加、湖岸景観の回復

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当年初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
琵琶湖のヨシの面積	ha	169(H19)	178	180	180		昭和30年代の湖辺のヨシ群落の形状	ヨシ群落保全基本計画	○
琵琶湖の水浴場の「快通」ランクの箇所数	箇所	3(H22)	5	4	2		9(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	○
琵琶湖漁業の漁獲量 (外来魚を除く)(再掲)	t	1,368(H20)	1,301(H22)	976(H23)	959(H24)		2,200(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
ニゴロブナの漁獲量(再掲)	t	39(H20)	23(H22)	45(H23)	48(H24)		75(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
セタシジミの漁獲量(再掲)	t	66(H20)	41(H22)	22(H23)	28(H24)		130(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
ホンモロコの漁獲量(再掲)	t	10(H20)	10(H22)	14(H23)	14(H24)		60(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
追加 アユの漁獲量(再掲)	トン	555(H21)	683(H22)	553(H23)	525(H24)		-	滋賀の水産	
追加 ビワマスの漁獲量(再掲)	トン	28(H21)	31(H22)	52(H23)	23(H24)		-	滋賀県水産統計年報(農林水産省)	○
追加 ニゴロブナ当歳魚資源尾数(再掲)	尾	-	730万	520万					○
追加 ホンモロコ資源尾数推定(再掲)	尾	-	1,200万	860万					○
追加 セタシジミの主要漁場における生息密度の推移(再掲)	個体/m ²	-	1.92	1.64					○
プレジャーボートによる騒音被害に関する苦情件数	件	8(H22)	4	3	4	☆	5(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
外来魚生息量(再掲) (4/1調査)	t	1,421(H21)	1,160	1,119	916		900(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
カイツブリの推定生息数	羽	741 (H20~H22平均)	583	819	592		800(H25)	滋賀県ガンカモ類等生息調査	○
カワウの推定生息数	羽	23,170 (H22春)	14,211 (H23春)	11,011 (H24春)	9,432 (H25春)		4,000程度	特定鳥獣保護管理計画(長期目標)	○
希少野生脊椎動物種	種	202(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)				
絶滅危惧種	種	34(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)			種数を実績値以上にしない	
絶滅危惧増大種	種	27(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)				
希少種	種	141(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)				

希少野生動植物種の「生息・生育地保護区」の箇所数	箇所	7(H22)	8	9	10	☆	10(H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
水草群落面積	km ²	41-44 (H15~H19)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	66-59 (H20~H25)		20-30 (1930~50年代)	水草繁茂に係る要因分析等検討会のまとめ	

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標達成の割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
水草表層刈り取り量	t	1,903(H22)	1,547	1,536	1,200		—	琵琶湖環境部組織目標	○
水草根こそぎ除去面積	ha	160(H22)	1,060	1,156	2,114	☆	660(H26)	琵琶湖環境部組織目標	
砂地造成累積面積	ha	13.5(H21)	24.8	35.8	45.8		53(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
ヨシの植栽面積(累計)	ha	34.6(H21)	38.4	39.8	39.9		56.8(H32)	ヨシ群落保全基本計画	○
砂浜保全対策(累計)	箇所	8(H21)	10	10	10		11(H32)		
外来魚の駆除量・回収量	t	18.2(H21)	15.3	18.9	14.2		20(H26)	回収ボックス・いけすの回収量 外来魚駆除量(水産課)	○
		374(H21)	312	350	174	315/年			
ニゴロブナの種苗放流尾数(再掲)	尾	1,154万 (全長20mm)	1,366万	1,322万	1,204万	☆	1,200万 (全長20mm)	水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	
		133万 (全長120mm) (H21)	127万	134万	140万	☆	120万 (全長120mm) (H26)		
ホンモロコの種苗放流尾数(再掲)	尾	1.1億 (全長5mm)	1.28億	0	0	☆	1億 (全長5mm)	(※5mmでの放流を止め、より効果のある20mmに切り替えた) 水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	
		100万 (全長20mm) (H21)	128万	1,059万	1,029万		800万 (全長20mm) (H26)		
セタシジミの種苗放流個数(再掲)	個	11億 (殻長0.2mm) (H21)	11.4億 (殻長0.2mm)	8.0億 (殻長0.2mm)	946万 (殻長0.3~0.4mm)		20億 (殻長0.2mm) (H26)	水産動物の種苗の生産および放流ならびに水産動物の育成に関する基本計画	

(3) 集水域

【2020年度の目標】適切に管理された森林や生物多様性に配慮した農地の増加と在来生物の回復

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標達成の割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との関係等)	詳細データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
除間伐を必要とする人工林に対する整備割合	%	65(H20)	81	61	66		80(H26) 90(H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○
森林づくり活動を実践している市民団体等の数(累計)	団体	99(H20)	120	127	139	☆	125(H26) 150(H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○
地域の森林づくりを推進する集落数(累計)	集落	56(H20)	62	80	82		87(H26) 100(H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○
耕作放棄地面積	ha	2,073(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)		—	世界農林業センサス調査結果	○
ニホンジカの推定生息頭数	頭	47,000-67,000(H22)	—	—	—		8,000	特定鳥獣保護管理計画(長期目標)	
カワウの推定生息数(再掲)	羽	23,170(H22春)	14,211(H23春)	11,011(H24春)	9,432(H25春)		4,000程度	特定鳥獣保護管理計画(長期目標)	○
希少野生脊椎動物種	種	202(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)		種数を実績値以上にしない	滋賀県で大切にすべき野生生物	
絶滅危惧種	種	34(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)				
絶滅危機増大種	種	27(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)				
希少種	種	141(H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)				
化学合成農薬の使用量(H12比)		33%削減(H21)	41%削減	42%削減	43%削減	☆	40%削減(H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
追加 ホタル飛翔地域数(守山市赤野井湾)	地区	23(H22)	28	29	25		—	びわこ豊穡の郷の資料より	○

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
里山整備協定林の数(累計)	箇所	9(H20)	12	13	14		25(H26) 40(H32)	琵琶湖森林づくり 基本計画	○
間伐実施面積	ha	3,014(H22)	2,513	1,887	2,042		3,100(H26)	琵琶湖森林づくり 基本計画	○
追加 利用間伐実施面積	ha	27(H17)	448	641	541		-		○
水稲における環境こだわり農産物 栽培面積の割合(再掲)	%	33(H21)	37	38	39		50(H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	
「魚のゆりかご水田」など豊かな 生き物を育む水田取組面積	ha	111(H21)	123	171	200		250(H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○

《つながりへの配慮》

【2020年度の目標】湖内・湖辺域・集水域を行き来する在来生物の増加

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
追加 アユの漁獲量(再掲)	トン	555(H21)	683(H22)	553(H23)	525(H24)		-	滋賀の水産	
追加 ビワマスの漁獲量(再掲)	トン	28(H21)	31(H22)	52(H23)	23(H24)		-	滋賀農林水産統計 年報(農林水産省)	○
追加 ニゴロブナの漁獲量(再掲)	トン	39(H20)	23(H22)	45(H23)	48(H24)		75(H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○
追加 ニゴロブナ当歳魚資源尾数(再 掲)	尾	-	730万	520万					○
追加 ホンモロコ資源尾数推定(再掲)	尾	-	1,200万	860万					○
追加 セタシジミの主要漁場における生 息密度の推移(再掲)	個体 /m ²	-	1.92	1.64					○

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
「魚のゆりかご水田」など豊かな 生き物を育む水田取組面積(再 掲)	ha	111(H21)	123	171	200		250(H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	○

2.暮らしと湖の関わりの再生

(1)個人・家庭

【2020年度の目標】身近な水環境と親しみ、自らのライフスタイルを見直していく人の増加

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
県内卸売市場の県産野菜入荷率	%	24.9(H21)	23.1	24.6	24.0		30.0(H27)	しがの農業・水産 業新戦略プラン	
月1回以上湖魚料理を作り、食 べる人の割合	%	-	-	17	-		70(H32)	県政モニターア ンケート(H24,8調査)	
県民1人が1日に出すごみの量	g	-	896(H22)	887(H23)	876(H24)	☆	910(H27)	第三次滋賀県廃 棄物処理計画	○
家庭排水に気を付ける家庭の割合	%	-	-	59	-		100(H32)	県政モニターア ンケート(H24,8調査)	
過去1年間に環境保全活動や環境 学習に参加した人の割合	%	-	-	37	-		70(H32)	県政モニターア ンケート(H24,8調査)	
過去1年間に琵琶湖や川で遊んだ 人の割合	%	-	-	45	-		70(H32)	県政モニターア ンケート(H24,8調査)	
追加 環境こだわり農産物を継続して利 用する消費者の割合	%	28(H21)	29	-	27		36(H27)	環境こだわり農 業推進基本計画	

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 割合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
「みるエコおうみ」プログラム取 組世帯数	世帯	2,190(H22)	2,401	2,463	2,483		50,000(H27)	第三次滋賀県環 境総合計画	
びわ湖まちかどむらかど環境塾開 催地区数	地区	-	4	2	2		10/年		

(2) 生業 (なりわい)

【2020年度の目標】琵琶湖流域保全と調和した生業の活性化と、企業による地域の環境や文化の保全・再生活動の活発化

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 場合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
県産材の素材生産量	m ³	32,000 (H20)	67,000	59,000	62,000	☆	59,000 (H26) 120,000 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○
新規就農者数 (H23~H27累計)	人	-	102	208	297	☆	200 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
琵琶湖漁業の漁獲量 (外来魚を除く) (再掲)	t	1,368 (H20)	1,301 (H22)	976 (H23)	959 (H24)		2,200 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
ニゴロブナの漁獲量 (再掲)	t	39 (H20)	23 (H22)	45 (H23)	48 (H24)		75 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
セタジジミの漁獲量 (再掲)	t	66 (H20)	41 (H22)	22 (H23)	28 (H24)		130 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
ホンモロコの漁獲量 (再掲)	t	10 (H20)	10 (H22)	14 (H23)	14 (H24)		60 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
追加 アユの漁獲量 (再掲)	トン	555 (H21)	683 (H22)	553 (H23)	525 (H24)		-	滋賀の水産	
追加 ビワマスの漁獲量 (再掲)	トン	28 (H21)	31 (H22)	52 (H23)	23 (H24)		-	滋賀農林水産統計年報(農林水産省)	○
追加 ニゴロブナ当歳魚資源尾数 (再掲)	尾	-	730万	520万					○
追加 ホンモロコ資源尾数推定 (再掲)	尾	-	1,200万	860万					○
追加 セタジジミの主要漁場における生息密度の推移 (再掲)	個体/m ²	-	1.92	1.64					○
追加 漁業就業者数	人	824 (H20)	(5年毎調査)	(5年毎調査)	(5年毎調査)			漁業センサス結果報告書	○
追加 琵琶湖漁業の生産額	億円	52.3 (H3)	11.9 (H21)	(H22以降の統計なし)	(H22以降の統計なし)			滋賀農林水産統計年報(農林水産省)	○
追加 農業就業人口 (販売農家)	人	44,291 (H17)	29,492 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)			農林業センサス(農林水産省)	○
追加 農業産出額	億円	704 (H17)	532 (H22)	589 (H23)	665 (H24)			生産農業所得統計(農林水産省)	○
追加 林業就業者数	人	366 (H17)	648 (H22)	(5年毎調査)	(5年毎調査)			国勢調査	○
追加 林業産出額	億円	12.3 (H17)	10.7	10.7	9.1			生産林業所得統計(農林水産省)	○

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 場合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
琵琶湖森林づくりパートナー協定 (企業の森)締結数(累計)	件	3 (H20)	14	17	21	☆	15 (H26)	琵琶湖森林づくり基本計画	○
「おいしが うれしが」キャンペーン登録店舗数	店	596 (H21)	866	1,033	1,180	☆	800 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
水稲における環境こだわり農産物栽培面積の割合 (再掲)	%	33 (H21)	37	38	39		50 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
「魚のゆりかご水田」など豊かな生き物を育む水田取組面積 (再掲)	ha	111 (H21)	123	171	200		250 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	○
びわ湖環境ビジネスメッセにおける有効商談件数(累計)	件	40,354 (H22)	44,023	48,625	52,015	☆	47,028 (H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
追加 環境こだわり農産物認証マークを表示して出荷する生産組織数	組織	87 (H21)	101	117	116		120 (H27)	環境こだわり農業推進基本計画	
追加 水田ハローによる浅水代かきの実施率	%	23.4 (H21)	28.5	27.1	30.0	☆	30.0 (H27)	環境こだわり農業推進基本計画	
追加 耕地面積	ha	54,646 (H17)	53,386	53,286	53,170		-	耕地面積調査(農林水産省)	○
追加 利用間伐実施面積 (再掲)	ha	27 (H17)	448	641	541		-		○

(3) 地域

【2020年度の目標】 地域固有の環境、文化や歴史の再評価と、それらを保全する活動や取り組みの活発化

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 場合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
「環境の保全を図る活動」を活動分野とするNPO法人の数	団体	205 (H21)	228	257	252		—		
森林づくり活動を実践している市民団体等の数(累計)(再掲)	団体	99 (H20)	120	127	139	☆	125 (H26) 150 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○
地域の森林づくりを推進する集落数(累計)(再掲)	集落	56 (H20)	62	80	82		87 (H26) 100 (H32)	琵琶湖森林づくり基本計画	○

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 場合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
マザーレイクフォーラムへの参加団体数	団体	—	—	85	135		200 (H26)		
淡海の川づくりフォーラムへの参加団体数	団体	20 (H22)	16	15	16		20/年		
びわ湖まちかどむらかど環境塾開催地区数(再掲)	地区	—	4	2	2		10/年		

《つながりへの配慮》

【2020年度の目標】 地域を越えた活動のための仕組みづくりと普段の生活の中での湖との関わりの定着

環境・社会の状態に関する指標 (アウトカム指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 場合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
学校給食への地場産物利用率(食材数ベース)	%	23.4 (H21)	24.9	25.4	25.6	☆	25以上 (H27)	しがの農業・水産業新戦略プラン	
びわ湖フローティングスクール「うみのこ」事業実施学校数	校	全小学校 (特別支援学校等含む)	全小学校	全小学校	全小学校	☆	全小学校 (特別支援学校等含む)	滋賀県基本構想未来戦略プロジェクト	
森林環境学習「やまのこ」事業実施学校数	校	243 (H22)	全小学校	全小学校	全小学校	☆	全小学校 (特別支援学校等含む)	滋賀県基本構想未来戦略プロジェクト	
「たんぼのこ」体験事業実施学校数	校	198 (H21)	204	203	208		全小学校	滋賀県基本構想未来戦略プロジェクト	
琵琶湖博物館の年間来館者数	人	388,040 (H21)	371,505	363,053	368,210		425,000/年		○
過去1年間に琵琶湖や川で遊んだ人の割合(再掲)	%	—	—	45	—		70 (H32)	県政モニターアンケート(H24.8調査)	
びわこルールキッズの登録者数	人	708 (H22)	853	741	1,094	☆	1,000/年		○
自分の住む地域の洪水ハザードマップを知っている人の割合	%	—	—	39	—		100 (H32)	県政モニターアンケート(H24.8調査)	

主な施策の進捗状況に関する指標 (アウトプット指標)	単位	実績値				目標達成 (目標値達成の 場合は☆)	目標値 (年度)など	備考(他計画との 関係等)	詳細 データ
		(当初年度)	(H23年度末)	(H24年度末)	(H25年度末)				
マザーレイクフォーラムへの参加団体数(再掲)	団体	—	—	85	135		200 (H26)		
淡海の川づくりフォーラムへの参加団体数(再掲)	団体	20 (H22)	16	15	16		20/年		
びわ湖まちかどむらかど環境塾開催地区数(再掲)	地区	—	4	2	2		10/年		
環境学習企画サポート件数(累計)	件	1,151 (H22)	1,371	1,620	1,869		1,900 (H25)	第三次滋賀県環境総合計画	
滋賀県学習情報提供システム「におネット」における講座情報数	講座	1,201 (H21)	1,740	1,848	1,859		2,100 (H27)	滋賀の生涯学習社会づくり基本構想	
森林環境学習の年間受講者数	人	14,557 (H22)	16,412	17,200	21,200	☆	20,000 (H26)	森林づくり基本計画	○

追加